

九州大谷短期大学グランドデザイン

本学は仏教学科、表現学科、幼児教育学科、福祉学科、専攻科福祉専攻を設置しています。いずれも、人間を尋ね、出会い、明らかにし、表現し、そして人間に成る学びを深める「人間学」を基礎としています。

今、私たちは人間が解らなくなった時代に生きています。それだけに、人間に帰ることが切に願われているのです。

本学は2010年に開学40周年を迎えました。それを機に、未来に向かって新たに将来ビジョンを構想し、全学を挙げてその実現に向けて「グランドデザイン」を策定しました。現在、それに基づいた第一歩が踏み出されています。

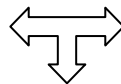
2012年4月1日
学長 大江 憲成

九州大谷短期大学グランドデザイン概要図【2017年度 改定版】

基本理念

真宗大谷学園存立の精神：三つの指標

設立の願い：浄土真宗の精神を世界に開くことを使命とする
 教育の理念：人間をエゴイズムから解放する教育と研究
 教育の方針：真の独立者として相互敬愛の心を有する人物を育成する



九州大谷短期大学建学の精神「本学の願い」

本学は、親鸞聖人が浄土真宗の名をもって明らかにされた仏教の精神にもとづき、自他への人間的自覚をうながし、真に自主的かつ社会的な人材の育成をはかることを教育の本旨とする。
 ・人生の主体者となる ・共に歴史と世界を生きる ・問いを学ぶ

本学の志向する人物 師友と出遇い母校愛に満ちたはつらつたる人物

「親鸞を開く」

～開学40周年を^う受け、50周年に向けて～

一人一人が、基本理念を表現し、感動ある学びの場として「地域社会から見える大学」となることを目指す。
 また、その実現に向けた真の経営基盤(人物、教育内容、施設、財務)の充実に取り組む。

経営目標

長期10年

経営戦略

中期5年

経営戦術

二〇一七年度

A 「人」をはぐくむ (教育研究の推進)

現代社会における人間教育の課題を「人間福祉」の視点から各専門課程において具体的に実践し、本学の特色として社会から認知されるブランド化を目指す。

I 「人」の養成を目指す 人間教育の推進と公開

1. 本学の教育基盤である人間学の展開と充実
2. 浄土真宗学※の研究体制の構築

※「浄土真宗学」
親鸞聖人が浄土真宗の名をもって明らかにされた仏教の精神にもとづき、自他への人間的自覚をうながし、真に自主的かつ社会的な人物の育成をはかる学び

II 各学科の特色ある教育研究の推進

1. 基本理念と経営目標に基づく教育方針の構築
2. 教育方針に基づく教育内容(カリキュラム、事業等)の構築と研究の推進
3. FDの充実

III 教育研究成果の公開と 地域交流・社会貢献の推進

1. 研究・社会活動等の推進と成果の公開
2. 知的資源の公開
3. 地域団体との連携
4. 卒業生の組織化とリカレント教育体制の構築

B 学生とともに (学生支援の充実)

学生すべての自己実現を目指す。そのため、教職員が一丸となって各種の支援体制を構築し、本学の学風として学外から認知されることを目指す。

I 一人と向き合う学生支援

1. 学生支援体制の充実
2. 生活支援の充実
3. 修学支援の充実
4. 進路支援の充実
5. キャリア支援の充実

C 出遇いを「ちから」に (募集力の強化)

学生の入学から卒業までの成長過程を具体的なストーリー(出遇い→自立→自信)として伝え、学内外で共感できる丁寧な募集広報を目指す。

いさみ

I 「勇」ある広報

1. 計画的な広報体制の構築
2. 広報活動の積極的な展開

II 「物語」を伝える学生募集の推進

1. 学生募集の活性化
2. 志願者増へ向けた募集戦略の強化

III 入学者選抜方法の改革

1. 入学者選抜方法の改革

D 「願い」をつなぐ (財務・運営力の強化)

ガバナンスの強化を図り、将来につなぐ、安定した財務基盤(財務目標値の達成)を実現する。挑戦する教職員を支援し、躍動する共同体を目指す。

I 財務基盤の強化

1. 中長期の財務戦略の構築

II 活力ある組織体制の構築

1. 円滑な組織運営を行うための体制構築

III 教育研究環境の長期的構想

1. 周年事業に向けた構想
2. 第三者評価の取組